



令和8年5月22日

立川市議会

議長 福島正美 殿

立川市議会文教委員会

委員長 瀬 順 弘

第二小学校「にしよぼらルーム」視察報告

このことについて、下記のとおり報告いたします。

記

1 視察月日

令和8年1月27日（火）10時から11時

2 視察地及び視察事項

「にしよぼらルーム等」の活用について

3 視察の概要及び所感

別紙のとおり

文教委員会所管事務調査 調査報告書

調査先： 立川市立第二小学校

『にしょぼらルーム等』の活用について

参加者：瀬 順弘（委員長）永元香子（副委員長）

門倉正子、高島奈美、原 ゆき（欠席：中山ひと美）

日時：2026年1月27日（火）10時～11時

対応：松村利一校長

経緯：

2024年12月、前任の寺田良太校長先生、特定非営利活動法人
育て上げネットとパートナーシップ協定書を締結。

・子ども達の育成を目的に情報交換や交流機会活性化を図るために

設置

・子ども達の現在・将来にかかる多様な選択肢の掲示

・学校の取り組みへの参加

視察先への質問

1. 「にしよぼら」では具体的な活動はどのようなものなのでしょうか。→教室以外の場所で1人になれる場所や話し相手を必要とする児童に対し、「にしよぼらルーム」、「マンガliving」を設置し活用。また校長室を遊び場として開放。

2. 「にしよぼら」では現在何名の方が参加しているのですか。

→参加人数：2025年4月～8月 300人 2025年4月～
2026年1月 724人 PTA有。

3. 「にしよぼら」の主な取り組みの成果は何ですか。

→見守ってくれる大人が増えた。横の関係づくり。

子ども達とふれあう時間を使える（担任）。

異学年との交流が始まった。遊びの選択肢が増える。

〈設立理由〉

・様々な特性を持つ子ども達のために、全ての子ども達にとって学校が安心できる場所、魅力的な場所であって欲しいという願いがある。

・人も場所も求めている子がいる→地域の方や育て上げネットの方などと「にしょぼらルーム」や「マンガ living」で過ごせるように配慮。

・毎週水曜にはボランティアスタッフが常駐。スタッフ支援の回数を増やす。(現在は対象となる児童はいない。)

・「マンガ living」の漫画は小学館集英社プロダクションからの寄付。

・2024年度→不登校6年生男子

・2025年度→保健室で過ごす。その後教室にて支援。

昨年度までのルール→担任と保護者とで合意した児童だけが利用できる。

今年度のルール→中休みや昼休みは自由に利用できる

授業中にクールダウン等のために利用できる

不登校傾向の児童がいる場合は最優先で利用